



◆夏を迎える準備は出来ているか？

6/15(木)の前期中間考査終了から約2週間。毎日1科目ずつ取り組んだとして、試験の解き直しが完了する頃でしょうか。まだの人は、7/3(月)のベネッセ模試に向けて、必ず取り組んでおきましょう。特別なことをする必要はありません。塾で改めて授業を受ける必要もないし、授業動画を見直す必要もありません。ここで必要なのは、アウトプットをすることです。そして、最も適切な範囲かつ最も適切な難易度のアウトプット教材が、前期中間考査です。5/25の大学見学会で「一つの教材を何度も解いて完璧に仕上げる」ことが、色んな問題集に手を出すことより有意であるという話を聞いたはずです。考査問題を、その「一つの教材」に位置付け、解き直しに励みましょう。模試を終えたら、次は模試の解き直し。前期中間考査でも覚束なかった分野が模試でも同様に覚束なかったならば、それこそが、自分が特に弱い単元ということ。試験はあくまでチェックです。何が分かっているのか、何が分かっていないのかを測るチェックです。そしてチェックをするのは、判明した覚束ない単元を学び直し、確実に自分のものにし、次の機会に解けるようになるためです。考査の解き直し → 模試でチェック → 模試の解き直し → 夏休みに重点的に取り組むべき部分を洗い出す——と、今やっていることを位置付けて学習に向かいましょう。「計画立てて勉強に取り組む」も、阪大生の話にあったポイントでしたね。

◆7/3(月)模試についての注意点

7/3(月) ベネッセ模試の日程です。

8:20~8:45	SHR・受験カード記入
8:50~10:10	国語(80分)
10:20~12:00	数学(100分)
12:00~12:45	昼休み
12:45~14:05	英語・リスニング(80分)
14:15~15:35	自己採点・ふり返り・LHR

- ✓教室の私物を撤去すること。机の中・横のフックは使用不可。教室後方のフックは使用可です。
- ✓休み時間や昼休みが、1年生・3年生と2年生とで異なります。他学年の試験や授業の妨げとならないよう、2年生フロア以外での私語は慎みましょう。

- ① 6/30(金)に配付した【大学・学部・学科コード番号表】を見て、受験カードに記入する志望校を4つ、あらかじめ考えておきましょう。4つのうち、難度が最も高い大学を第1志望に書きます。京都大・大阪大に進んで自分の力を発揮したい!と1ミリでも思っているならば、第1志望は京大・阪大です。
- ② 回答する問題について、数学はBコースを解くこと。B1~3は必答問題、それ以降は4題から2題を選択で回答です。数学の選択問題はB5「図形と方程式」・B6「三角関数」を解くこと。B4・B7は選択しないこと。英語の選択問題ではリスニングを実施します。
- ③ 14:15からの時間帯で、自己採点に取り組みます。解答する際は、問題冊子に自分の答えを記しておきましょう。

④ 進路ファイルと Chromebook を持参すること。進路ファイルに問題冊子を入れて持ち帰り、解き直しに取り組むこと。解き直しは 7/10(月)までに担任の先生へ提出です。自己採点と解き直しに取り組む意義は、左記の通りです。意義がつかめていない人は、この学年通信を冒頭から読み直しましょう。

⑤ 成績シートの返却は、9月中の LHR の予定です。①で記入した志望校について、合格可能性の判定(のようなもの)が記されていますが、現時点で気に留めるべきものではありません。左記の通り、模試に期待する本来の役割は、これから手当てすべき覚束ない単元を見付けるチェック機能です。判定(のようなもの)を気にして志望校を変更する時間と労力があるのなら、第1志望に自分を近づけていく方策(つまり勉強)とその時間の捻出につき込みましょう。

◆当面の予定

7/7(金) 65分授業

10(月)～20(木) 懇談週間・午前中授業

20(木) 授業2コマ+大掃除+全校集会

8/19(土) 教員採用試験会場として使用

20(日) " 予備日

21(月) 全校集会・宿題考査・学年集会
(大掃除あり)